

第2部課程第170期（平成26年5月8日～7月17日）

課 目 名	4-4 地域福祉の課題と自治体の政策
時 限 数	3 時限
担 当 講 師	ルーテル学院大学学長 市川 一宏 ＜プロフィール＞ 1980年、東洋大学大学院社会学研究科社会福祉学専攻博士前期課程修了 1983年、同博士課程単位取得満期退学 1983年、日本ルーテル神学大学専任講師 1986年、同助教授 2001年、ルーテル学院大学文学部社会福祉学科学科長 2002年、ルーテル学院学長、現在に至る
ね ら い	一人暮らし高齢者への調査結果から明らかになった孤独死や餓死問題を考えるうえで出発点となる孤立の状況など、これからの地域社会における福祉のあり方と自治体の責務などについて理解することをねらいとする。
講 義 概 要	今日、孤立死、虐待、貧困、認知症高齢者の介護等の社会問題が深刻化しており、各自治体が緊急に取り組む必要が生じている。この状況に対し、国は、社会保障審議会『生活困窮者の生活支援の在り方に関する特別部会報告書』、社会的養護、地域包括ケア、「これからの地域福祉のあり方に関する研究会報告」等の地域福祉の取り組みを提起してきている。それらの動向を踏まえ、実践事例を紹介しつつ、地域福祉のあるべき姿を模索したい。
受講上の注意	・ 参加型の講義をすすめるので、自治体の取り組みを理解しておくことが望ましい
使 用 教 材	講義レジメ
効 果 測 定	なし
そ の 他 (他の課目との関連)	なし